



皆さん新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。
 ようやく折り返し地点に到達しました。本年度は、すべての行事がいまのところリアル開催できており、大変うれしく思っております。
 今年度は、35周年記念式典をはじめ、当クラブにとって大切な事業が数多くあり、残りの半年間、皆様と共にこれら大切な事業を成功させ、更には皆様の例会参加満足度をより高められるよう酒井幹事とともに頑張っていきたいと思っております。
 今年は癸兔(みずのと)という年で、詳しくは本年度の年男の皆様のあいさつで紹介されると思いますが、飛躍・向上の年回りとなっています。会員の皆さんそれぞれの飛躍・向上、そして当クラブの更なる発展を心から願っております。皆様、あと半年間どうぞよろしくお願いいたします。

2023 年「年男の弁」 卯年



武田 司 会員 1963 年 (S38) 還暦

私は、当クラブに入会し今回が 2 回目の年男の弁となります。
 今回誕生日を迎え還暦を迎えた訳ですが、半年ほど前より人生の折り返し地点はすでに過ぎているとひしひしと感じているこの頃です。
 前回 48 歳の時は、入会 2 年でのスピーチでした。何を話したか記憶にありませんが、当時は当クラブへの入会や中小企業家同友会へ入会し、経営指針研修会に参加するなどして、40 代前半に取引先の倒産により損失を被り、財務及び・営業基盤の改善・社員との関わり方など模索していたのが思い出されます。
 社業については、当クラブや同友会に参加し、様々な機会と知識をいただけたことで 弊社は当時目標にかかげた自己資本比率と経常利益にこの 12 年間で達することが出来ました。これにより、一般建設業から特定建設業へ 5 年前に変更できたところ です。
 これもひとえに、お付き合いいただいた皆様のご厚情のたまものであり、当クラブの入会があったからこそで、感謝の言葉しか有りません。
 私自身のこととしては、半年ほど前よりいろいろ生活に変化をいれたり、やりたいことを更に追及するなどを始めています。1つ目は、年齢を重ねることでますます体力低下が起こる前に山スキーをもう少し追及したいと考え、新しい板を秋口に予約し年末、手に入れたところです。
 今のところ、山登り・山スキーが私の趣味ですので、体力低下してからではできなくなっていくだろうということと、軽量化された最新作で「身体に優しく」を考え、ちょっと高額な物を還暦のお祝いにとしようと買ってしまいました。
 2つ目は、体力低下を防ぐため？ いや、スキーで山に登る体力を向上改善すべく昨年 9 月よりスポーツクラブに通い始めたことです。
 3つ目は、11 月より実行していますが効果が出なかった場合、恥ずかしいので、また 12 年後にお話しできればと思います。いずれにしても、人生 3 分の 2 は過ぎましたので、「やれることは何でもやろう」と考えていると宣言して、還暦の弁を終わらせていただきます。



工藤喜作 会員 1987 年 (S62)

2023 年は卯年です。私は今年 36 歳になるので、干支を 3 周したことになります。20 代の予定としては、20 代で結婚するつもりでしたが、気付いたら 36 歳になっています。流れる時の猛スピードさを実感してしまいます。

大西会長の説明で分かりましたが、卯年とは飛躍・向上の年です。干支でどうこうはありませんが、私としては皆様に少しでも近づくべく努力して参ります。

皆様を見て思うのは、長い間経営する上で色々なことを乗り越えてこられたんだらうな、皆すごい方々だな、と感じます。おそらく、これまでも、とんでもないトラブルや想定外の状況に巻き込まれたり、たとえば発注者が倒産、夜逃げ、もしくは裏切りだったり、散々な、人に言えない事も多く経験してきたのではないかと。それを乗り越え、困難を克服し、精神的にも体力的にも頑張つてこられたんだらうなと考えると、頭が上がりません。

私は親から会社の跡を継いで頑張つてこられたのは、親が構築した仕組みがよく出来ていて、それに乗っかっただけに過ぎません。跡をついで 7、8 年も経つと、以前からの縁も寿命や定年とともに終わり、新たな縁や人脈を構築していかなければなりません。それは、内部的にも外部的にも一緒です。

時代とともに社会情勢や働き方、扱う武器も変わっていきます。化石にならないように、日々変化、進化することを自らに課し、頑張っていきます。

~~~~~

<市内ロータリークラブ 1/18-1/31 予定>

市内 RC の例会プログラムにつきましては紙面の関係上、今週は割愛させて頂きました。会員の皆様へは例会後、メールにてご案内させていただきますので、何卒ご了承頂きますようお願いいたします。